

小学校英語デジタルコンテンツについて

学校教育課

小学校英語デジタルコンテンツについて

1. 目的

平成30年度から段階的に先行実施される新学習指導要領では、英語について、小学校5、6年生で「教科」、3、4年生で「外国語活動」として行われる。

このため、本県では、児童生徒が英語でふるさとの魅力を伝え、意欲的に学習に取り組むことができるよう、視覚イメージと音声を組み合わせた「ふるさと徳島」を題材とするデジタル教材を作成した。

2. 制作委員会

鳴門教育大学教授等有識者3名による監修委員会及び小中の英語推進リーダー等英語担当教諭等5名による制作委員会を設置し、映像・音声の撮影・録音については四国大学の御協力をいただき、制作・監修等を行った。

3. コンテンツ

小学生が実際に使えることを想定して4大モチーフである「阿波藍」「阿波人形浄瑠璃」「阿波おどり」「ベートーヴェン第九」に加え、「すだち」「祖谷のかずら橋」「ウミガメ」「方言」の計8テーマについて写真や動画と簡単な英文で紹介する内容とした。

小学生向けでは、音声に慣れ親しむことを重点を置き、簡単なやり取りを動画として収録。中学生向けでは、同じテーマで内容が少し高度な文章をテキストと音声で収録。

4. 配布物

DVD(テキストと同じ内容をPDFで収録、音声・動画についてもパソコンで再生できる形態)とガイドブック(収録内容を英文と写真や絵で提示したもの)をセットで作成。

5. 制作・配布部数

各小学校へ2部ずつ+中学校へ1部ずつ+関係機関(各市町村教委等)へ1部計500部作成・配布(平成30年3月末)